



屋久島  
環境文化村センター

# 展示ホールガイド

テーマゾーンは、吹き抜けの周りをめぐるとゆるやかなスロープ沿いに配置されています。順路に沿って歩むと、亜熱帯の海辺から奥岳の山頂部へ、屋久島の魅力のすべてを味わうことができます。隣接の大型映像ホールでは、超ワイドスクリーンで迫力ある屋久島の大自然を観賞できます。

展示ホールでは、模型、実物、パネル、ビデオ、映像などの展示で、屋久島のすばらしい自然と人々のくらしをわかりやすく紹介しています。



まるりん

## 2 人々の世界—海

屋久島は日本一のウミガメの産卵地です。ウミガメはなぜ屋久島で産卵するのでしょうか。それは屋久島の美しい海、砂浜、黒潮の流れる温暖な海と関係がありそうです。また、黒潮は島の人々のくらしに古くからさまざまな海の恵みをもたらしてきました。今も行われているトビウオ漁やサバ漁をはじめ、海にまつわるくらしや歴史なども紹介しています。



●屋久島の魚 黒潮の流れる屋久島周辺の海は、日本でも最も魚種が多い海域として知られています。とくに、サバとトビウオは屋久島の重要な水産資源となっています。



●麦生の彩色エビス(模型) 昔から漁業に従事する人々は豊漁を祈願してエビス様をまつています。その形態は集落によってさまざまです。



●アカウミガメの模型

## 1 水の島—屋久島

屋久島は「ひと月に35日雨が降る」といわれるほど雨が降ることで知られています。ホール中央に配置された屋久島の地形模型と、その上に天井から垂れ下がった雨量シャンデリアはこれを表現したものの。島にもたらされる多量の雨と、亜熱帯から冷温帯までの幅広い植生分布は、屋久島が九州最高峰の宮之浦岳をはじめ高山を連ねた洋上に浮かぶ山岳島であることに秘密があります。屋久島の形成や気候、海流についても展示しています。



●屋久島の滝 島内の著名な滝や清流を紹介。



●雨量シャンデリア 地形模型の上の玉のくさりはその地点の年間降水量を表し、山岳部では8000メートルを越え、その長さは8mにもなります。



